

平成30年度指導教諭の紹介

<p>教科 (科目)</p> <p>外国語 (英語)</p> <p>名前 (ふりがな)</p> <p>麻生 朋成 (あそう ともなり)</p> <p>勤務校 (問い合わせ先)</p> <p>大分県立臼杵高等学校 住所：〒875-0042 臼杵市海添 2521</p> <p>TEL：0972-62-5145 FAX：0972-62-5146</p>	<p>1 授業の特徴</p> <p>Backward Design (逆向き設計) を意識して授業を構成しています。授業 (または単元) 内で行う様々な活動を最終の言語活動に向けて段階的に構成しながら、目的を明確にした活動を行うことを通して、生徒が英語を身につける (英語を使うことができる) 授業を行うことを心がけています。</p> <p>2 教科指導に関して情報提供や協議が可能な事項</p> <p>① 目的を明確にした言語活動に関する指導のポイント ② 単元指導計画 (Backward Design) の立て方 ③ 学習評価の方法</p> <p>3 研修講演等が可能なテーマ</p> <p>目的を明確にした言語活動のあり方について</p> <p>4 活動実績</p> <p>平成29年度高等学校英語教育推進リーダー中央研修参加 等</p> <p>5 自己紹介、プロフィールなど</p> <p>昨年度より指導教諭として本校に勤務しています。これまでは、英語の教師として、生徒の英語学習 (言語習得) のために、自分にできること (すべきこと) を考えながら日々の教育活動に取り組んできました。「英語が苦手!」「英語は難しい!」という生徒の声を聞く度に、教師の指導のあり方のみを見直してきました。授業は教師が行い、いかに指導技術を改善すべきか、ということばかり考えてきました。授業改善を行う中で、授業は教師と生徒でつくるものであるという視点を学びました。以来、生徒の視点から自分の授業を分析・改善するようになっています。生徒にとって、学校生活の中で多くの時間を占める授業を、何とか充実したものにするためにも、この視点で授業改善を続けていきます。生徒の成長や学習者としての自立に向けて、英語の教師として自分にできること (すべきこと) を考えながら、日々の授業を実践します。</p> <p>6 学校紹介</p> <p>臼杵高校は、大学、短大、専門学校への進学や就職等、幅広いニーズを持った生徒が学ぶ普通科高校です。生徒一人ひとりに対してきめ細やかな指導を行っています。部活動加入率80%以上、「学校が好き」と答える生徒も90%以上と高く、「この地で学ぶ、この地で伸びる、この地で輝く」の学校スローガンのもと、自己の目標達成はもとより、地域とのつながりを大切にしながら、地域の発展にも貢献できる人材育成を目指しています。</p> <p><u>ほぼ毎日更新しているホームページ</u>では、学校行事はもとより、生徒の様々な活動の様子を詳細に紹介しています。臼杵高校の HP にアクセスしていただき、学校の躍動感を感じていただければ幸いです。</p> <p>7 学校や関係 HP のリンクなどアドレス</p> <p>学校ホームページ http://kou.oita-ed.jp/usuki/index.html</p>
---	---